



「天下布武」の意味

戦国時代、織田信長は本拠地を岐阜に移した頃に、「天下布武」という印章を用いるようになったと伝えられています。

比叡山の焼き討ちに代表されるように、信長は激しい気性であり、魔王のように語られることが多い武将です。そのようなイメージが先行し、この「天下布武」の言葉も、「今後は織田家の武力をもって天下を統一するから、みんな俺に従え！」のように解釈されがちです。私も長い間そのように理解していました。

しかし、本来の意味はどうも違うようです。研究者の間でもいくつかの説はあるようですが、まず「武」という漢字がそもそも「戈（ほこ）を止める」つまり、戦争状態を終わらせるということのようです。

また、当時は尾張と美濃の二カ国を治める大名に過ぎない織田家ですので、ここでいう「天下」は日本全国ではなく、近畿地方の限定的なエリアであるという説が有力です。



今の世界では、ウクライナやパレスチナをはじめ、各地で戦闘が起きています。日本の戦国時代では到底考えられないような「武力」が毎日使われています。一日も早く「戈を止める」ことが実現されるように願ってやみません。

また、織田信長を語る際に、「天上天下唯我独尊」という言葉が用いられることがあります。こちらも同様に「自分がこの世界で一番偉いのだ」という自己中心的なうぬぼれの表現として使われることがありますが、この言葉も奥が深いようです。「人はみな、この世で唯一無二であり、誰もが大切に尊い存在である。」ということでしょうか。

中学生に限ったことではないかもしれませんが、人間はついつい人と比べてしまいます。自分の方が劣っていると感じたり、人をうらやんだりしたりします。誰かと比較するのではなく、生まれながらにして尊い存在として自分を見つめ、大切にしたい心を持ち続けたいものです。

校長 石山 哲也

12・1・2月の主な教育活動

12月	曜	学校行事等	絵	部活
7	木	高林加代へ来校		○
11	月	三者面談 ～18日まで		○
14	木	高林加代へ来校		○
19	火	学級レター会(放) 部長会(昼)		○
21	木	高林加代へ来校		○
22	金	2学期終業式 給食あり4時間		○
1月 ※高林 SC 来校日は、1月18・25日です				
5	金	3学期始業式 3時間授業(給食・部活なし)		×
9	火	3年生参観・進路学習会 部活動なし 弁当		×
11	木	1・2年生県学力調査 3年生実力テスト		×
15	月	専門委員会		○
17	水	読み聞かせ		○
18	木	高林加代へ来校		○
24	水	1年生参観・懇談会		○
25	木	2年生参観会・懇談会 学校運営協議会 高林加代へ来校		×
2月 ※高林 SC 来校日は、2月1・22・29日です				
6	火	私立高校入試 3年生給食なし		○
7	水	私立高校入試 読み聞かせ		○
14	水	技術・家庭テスト		○
15	木	定着度テストⅢ		○
16	金	私立高校合格発表		○
19	月	新入生用品販売 公立高校願書受付～21日		○
21	水	PTA新旧引継ぎ会		○
26	月	午前中授業(給食あり)		○
29	木	専門委員会(最終)		○

学年行事 ～1年生防災学習～

1年生 酒井風凜

防災学習では、いつ来るかわからない地震をイメージして、緊張感をもって活動に取り組みました。

HUGでは、自分の判断が合っているか不安になる事ばかりでしたが、いざという時に1人でも多くの人の役に立てるように、自分を見直すきっかけになりました。

これからも「助けられる人から、助ける人に」を目標に、自覚と責任をもって生活していきたいです。



～2年生職業体験学習～

2年生 後藤 徹平

私は、製造業を体験しました。そこで私が学んだことは、作業の正確性の大切さです。

「この部品の向きを間違えて組み立てると、オートバイが動かなくなるから。」と、まず職場の方が私に教えてくれました。それは、小さな製品で、その製品を完成させるまで、細かい作業の連続でした。作業の一つにミスがあると、大きな事故につながります。細かい所までしっかり確認して、安心して安全な製品になるように、気をつけてつくりました。

自分がつくったものが、一つの製品となっていくと考えると、絶対にミスがないように、自分の行いに責任をもちたいと考えました。



～3年生掛川学「掛東ベンチャー」～

3年生 鈴木 将太

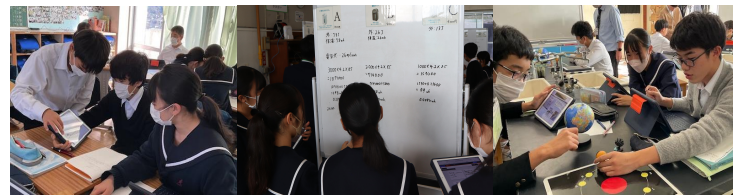
私達「Tea 茶～」は、起業する上で「馴染みやすさ」を一番に考え、子どもから大人まで、誰もが関わったことがあると言っていい「学校」をテーマにしました。実際に起業を考えていく中で、「ありそうでないものを生み出していく」難しさを感じました。

この学習をとおして、いろいろな角度から掛川を見ることで、掛川のよさを再発見することができたと感じています。このよさを、掛川に住む人だけでなく、もっともっと多くの人に広げていきたい。と考えました。



掛川市教育委員会指定 一人1台端末による新たな学び研究発表会

本校では、令和3年度から一人1台端末の活用について研究を行ってきました。研究は、ICT機器を授業でどのように子どもの学びにつなげ・深めるか。が柱であり、その研究を発表する会が、11月24日(金)にありました。当日は、約130人の方に御参加いただき、授業参観と研究発表を行いました。東中は、仲間との「学び合い」の中でよく考え、自分の考えを深めている姿がたくさんある。と東中生をたくさん褒めてもらいました。



第2回リサイクル活動ありがとうございました

第2回PTAリサイクル活動を11月18日(土)に行いました。朝早くから、皆様の御協力のおかげで、**127,028円**の収益がありました。この収益は、教育環境の充実のために使わせていただきます。ありがとうございました。